

2023年度（2024年3月期） 第3四半期決算 補足説明資料

DNP

未来のあたりまえをつくる。

2024年2月9日

大日本印刷株式会社

【2023年度第3四半期決算概要】

(単位：億円) **DNP**

	2022年度 第3四半期	2023年度 第3四半期	増減率 (差)	2023年度 業績予想	進捗率
売上高	10,235	10,612	+3.7%	14,100	75.3%
営業利益	445	520	+16.6%	670	77.6%
経常利益	576	682	+18.4%	780	87.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	644	985	+52.9%	880	112.0%

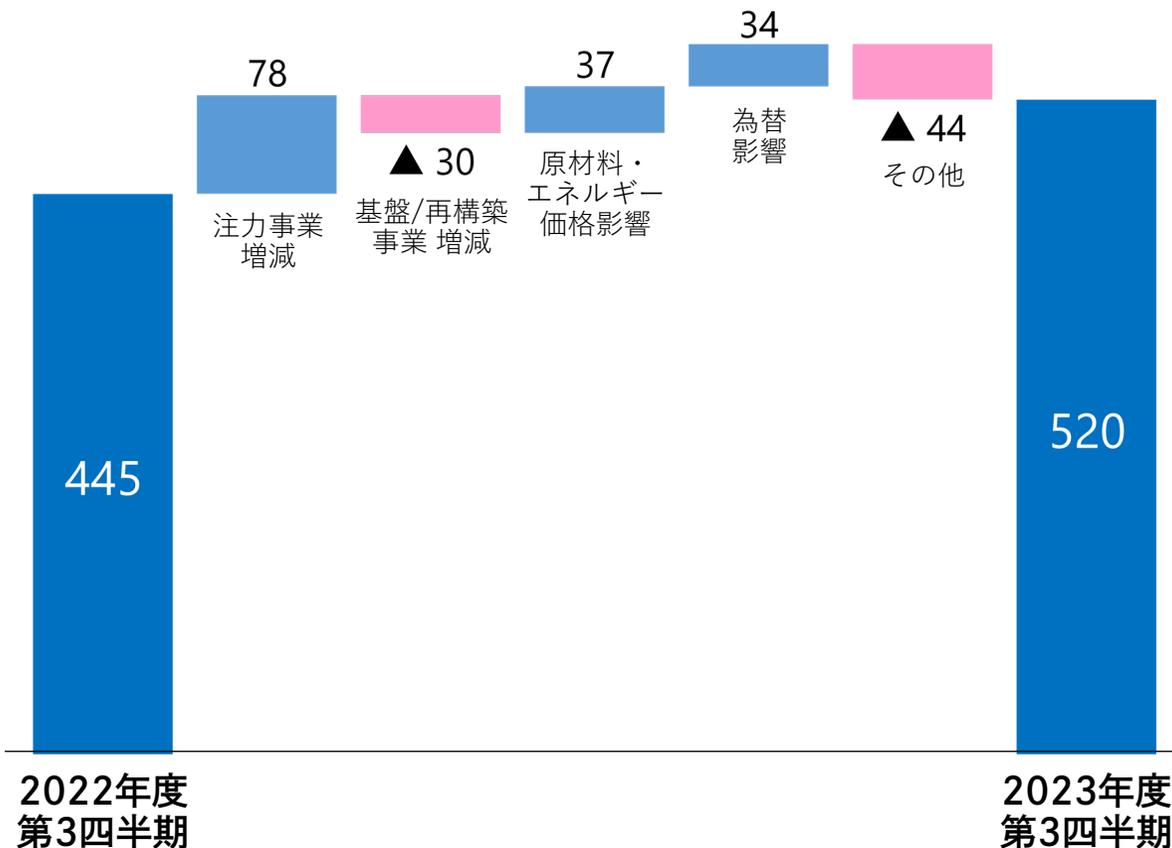
設備投資額	357	433	+21.2%	760	57.1%
研究開発費	244	264	+8.3%	340	77.9%
減価償却費	375	407	+8.5%	540	75.5%

概況

- ✓ 注力事業領域を中心とした新しい価値の創出を加速し、売上高は前年から3.7%の増加
- ✓ デジタルインターフェース関連の注力事業が好調に推移し、営業利益は前年から16.6%の増加
- ✓ 持分法適用会社の利益拡大なども寄与し、経常利益および四半期純利益も前年を上回った

【2023年度第3四半期決算概要】 営業利益増減要因

(単位：億円) **DNP**



概況

- ✓ 注力事業は、半導体関連で市場減速の影響が続いたものの、ディスプレイ関連製品の需要が好調だったほか、バッテリーパウチや太陽電池用封止材も堅調に推移
- ✓ 基盤事業については需要は堅調も、一部製品での得意先在庫調整等が影響
- ✓ 再構築事業は、紙媒体の市場減少が続くほか、住宅関連需要が低迷
- ✓ 原材料・エネルギー価格影響については、上昇ペースが落ち着き、価格転嫁の不足影響が緩和

【2023年度第3四半期決算概要】注力事業・基盤事業の概況

(単位：億円) **DNP**

		2022年度 第3四半期	2023年度 第3四半期	概況 (矢印は売上高の前年比)	
スマート コミュニケーション 部門	セグメント 売上高	5,330	5,321	↑	イメージング コミュニケーション関連
	セグメント 営業利益	179	159	→	情報セキュア関連
				↑	コンテンツ・XR コミュニケーション関連
ライフ& ヘルスケア 部門	セグメント 売上高	3,388	3,565	↑	産業用高機能材関連
	セグメント 営業利益	61	105	↑	モビリティ関連
				↑	メディカル・ヘルスケア 関連
エレクトロ ニクス 部門	セグメント 売上高	1,532	1,744	↑	光学フィルム
	セグメント 営業利益	360	423	↑	有機ELディスプレイ 製造用メタルマスク
				↓	半導体関連

※ 1つのICチップで接触型と非接触型の2つのインターフェースを備えるカード

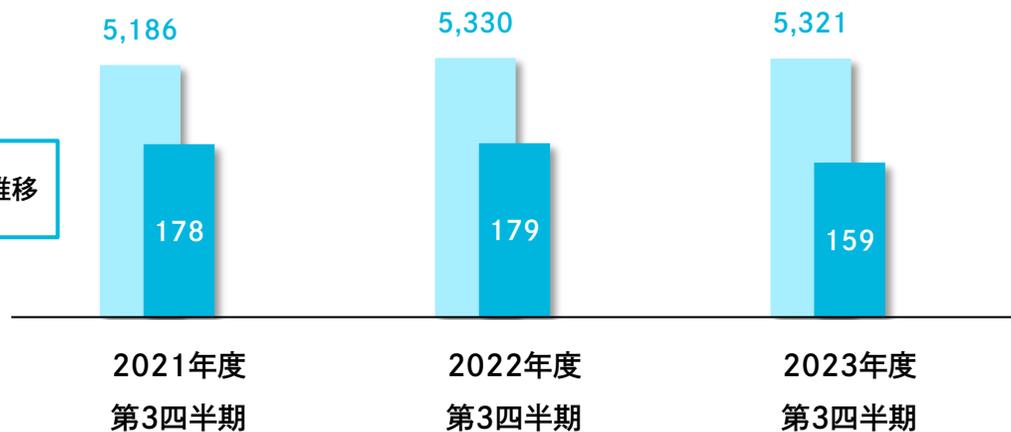
【2023年度第3四半期決算概要】セグメント別業績

(単位：億円) **DNP**

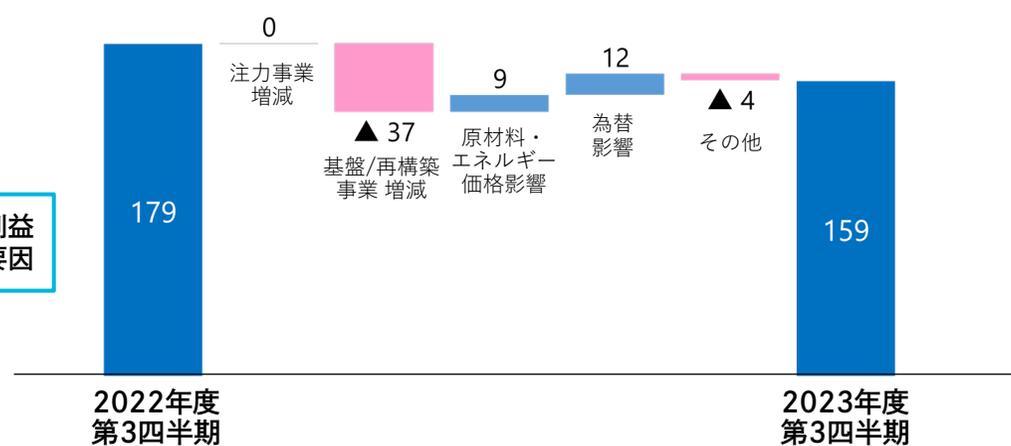
スマートコミュニケーション部門

■ 売上高 (左) ■ 営業利益 (右)

業績推移



営業利益増減要因



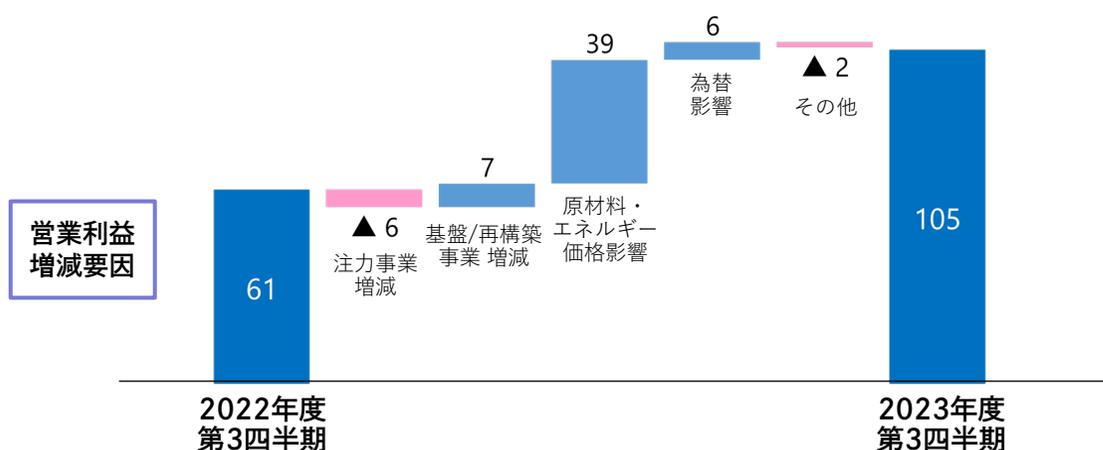
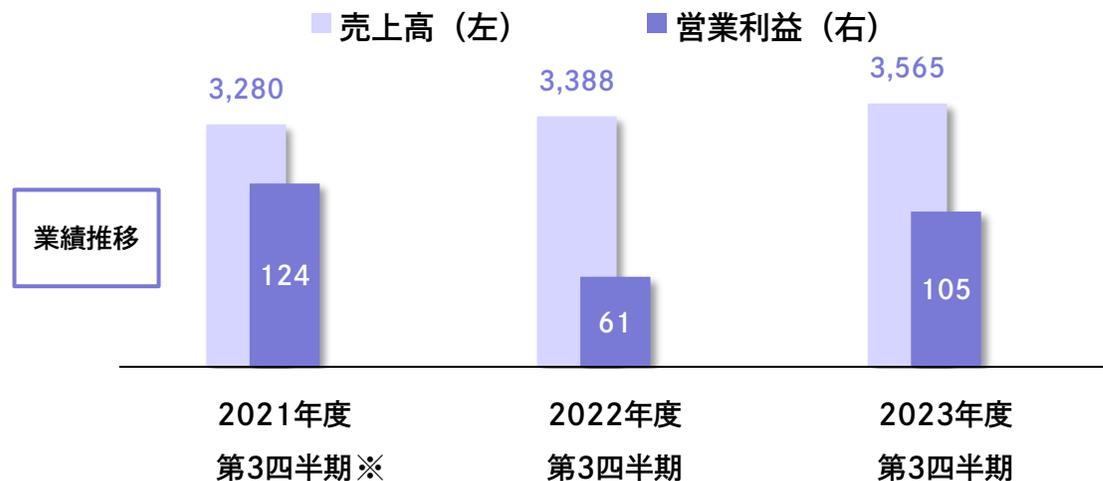
概況

- ✓ 情報セキュア関連は、BPO・ICカードが好調に推移
- ✓ イメージングコミュニケーション関連は需要堅調も、利益面は一部製品の在庫調整等が影響
- ✓ 再構築事業は、雑誌等の紙媒体の市場縮小が継続

【2023年度第3四半期決算概要】セグメント別業績

(単位：億円) **DNP**

ライフ&ヘルスケア部門



概況

- ✓ 注力事業は、バッテリーパウチや太陽電池用封止材を中心に需要堅調であったものの、太陽電池用バックシートの在庫調整等が影響
- ✓ 包装関連・生活空間関連は付加価値の高い製品に注力し、ポートフォリオ変革を推進
- ✓ 原材料・エネルギー価格影響については、上昇ペースが落ち着き、価格転嫁の不足影響が緩和

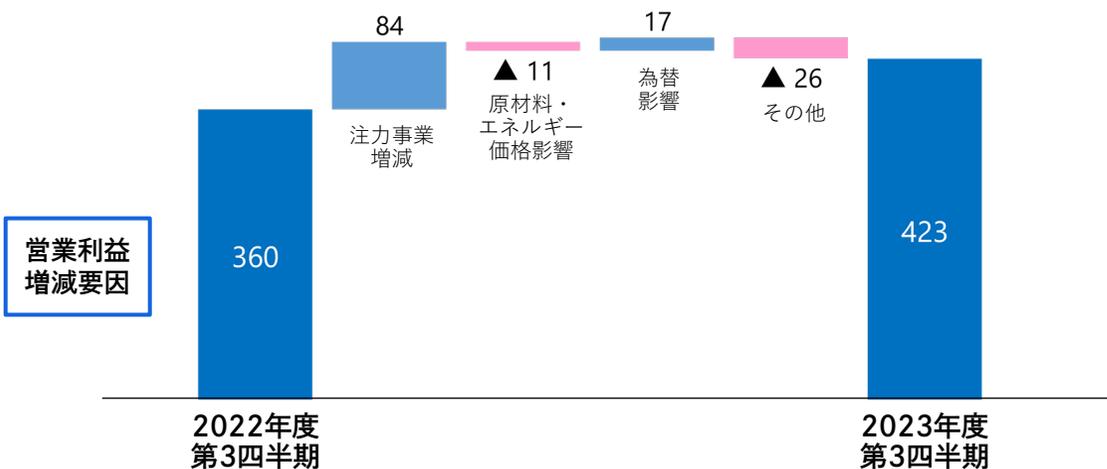
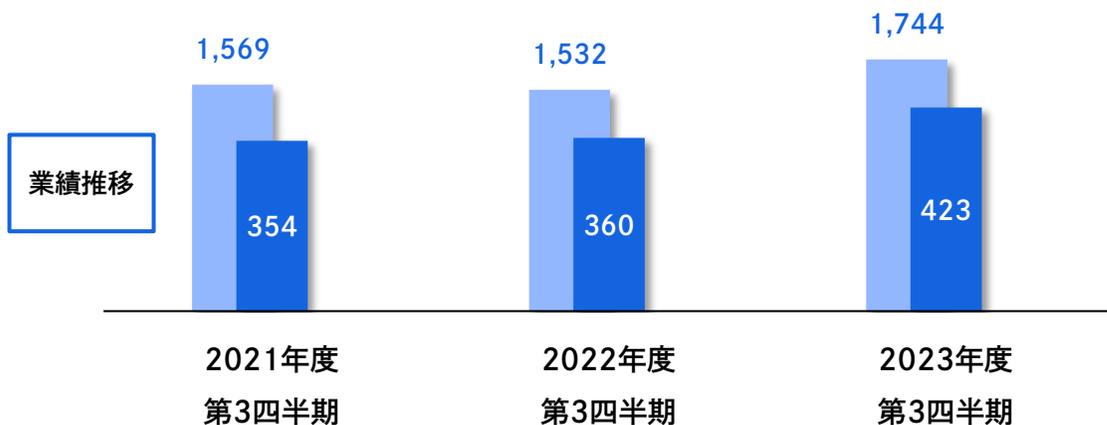
※ 2021年度の「ライフ&ヘルスケア部門」の売上高・営業利益は旧「生活・産業部門」および「飲料部門」の合算値を表示

【2023年度第3四半期決算概要】セグメント別業績

(単位：億円) **DNP**

エレクトロニクス部門

■ 売上高 (左) ■ 営業利益 (右)



概況

- ✓ ディ스플레이関連製品の需要回復により光学フィルムが増加
- ✓ 有機ELディスプレイ製造用メタルマスクは、スマートフォンへの採用比率拡大に伴い堅調に推移
- ✓ 半導体関連は、フォトマスクは前年並みも半導体パッケージ用のリードフレーム等が減少

【2023年度第3四半期決算概要】セグメント別通期業績予想

(単位：億円) **DNP**

✓ 第3四半期連結累計期間の実績および足元の需要動向を勘案し、セグメント別の業績予想を修正

		第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		通期		※参考 2023年度 期初業績予想
		2022年度	2023年度	2022年度	2023年度	2022年度	2023年度	2022年度	2023年度 見込	2022年度	2023年度 修正業績予想	
スマート コミュニケーション	売上高	1,736	1,800	1,742	1,704	1,852	1,816	1,872	1,888	7,202	7,210	7,210
	営業利益	47	49	46	36	85	73	87	80	267	240	280
ライフ& ヘルスケア	売上高	1,037	1,092	1,133	1,224	1,216	1,247	1,125	1,184	4,513	4,750	4,950
	営業利益	10	15	18	36	33	54	18	24	79	130	180
エレクトロ ニクス	売上高	574	562	470	563	487	617	503	425	2,035	2,170	1,970
	営業利益	162	124	95	126	102	172	109	96	469	520	420
調整	売上高	▲ 3	▲ 4	▲ 5	▲ 6	▲ 6	▲ 6	▲ 4	▲ 12	▲ 20	▲ 30	▲ 30
	営業利益	▲ 50	▲ 56	▲ 53	▲ 55	▲ 50	▲ 56	▲ 48	▲ 51	▲ 204	▲ 220	▲ 210
合計	売上高	3,344	3,450	3,340	3,486	3,550	3,674	3,496	3,487	13,732	14,100	14,100
	営業利益	169	132	106	142	169	244	166	149	612	670	670

未来のあたりまえをつくる。

DNP

免責事項

本資料における業績予想及び中期的な経営目標等、将来予想に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により、これらの将来予想とは異なることがあることをご承知おきください。